

香川高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	キャリア概論
科目基礎情報					
科目番号	200011		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	建設環境工学科 (2018年度以前入学者)		対象学年	3	
開設期	通年		週時間数	1	
教科書/教材	ハンドアウト等				
担当教員	学級 担任				
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアップにつなげるための社会性・人間性を育てる。 ・将来の進路設計の具体化ならびに職業観・勤労観を養う。 ・技術者として必要な、技術者倫理に関する知識を学ぶ。 ・技術者として必要な、情報リテラシーに関する知識を学ぶ。 ・技術者として必要な、グローバル化に関する知識を学ぶ。 					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	社会人としてのマナーや知識を備えて相応しい行動ができる。	社会人または学生として必要な知識やマナーを備えている。	社会人または学生として必要な知識やマナーがない		
評価項目2	社会との関わりの中で自身が将来どのような技術者になるべきか説明できる。	自身の進路計画について考えを述べることができる。	自身の進路計画について考えていない。		
評価項目3	技術者として必要な、技術者倫理に関する知識について自分の言葉で説明できる。	技術者として必要な、技術者倫理に関する知識を知っている。	技術者として必要な、技術者倫理に関する知識を知らない。		
評価項目4	技術者として必要な、情報リテラシーに関する知識について自分の言葉で説明できる。	技術者として必要な、情報リテラシーに関する知識を知っている。	技術者として必要な、情報リテラシーに関する知識を知らない。		
評価項目5	技術者として必要な、グローバル化に関する知識について自分の言葉で説明できる。	技術者として必要な、グローバル化に関する知識を知っている。	技術者として必要な、グローバル化に関する知識を知らない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	キャリアアップにつなげるための基礎的な学習・体験を通じて、社会性・人間性を育てるとともに、将来の進路設計の具体化並びに職業観・勤労観の涵養を図る。				
授業の進め方・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・1学年から3学年の各学年において、年間10単位時間を当て、キャリア発達支援に関する講義・実習などの授業を行う。 ・年度初めに担任が、授業計画の授業内容・方法に関連する具体的な実施計画を提示する。 ・3学年修了時点で合否判定を行い100点法では評価しない。 ・合否は3学年までの出席状況、レポートの提出状況をみて総合的に判定し、3年間のレポート提出が3分の2に満たない場合は、理由の如何を問わず不合格とする。 				
注意点					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	人間性・社会性を育てる (1)	自分の趣味や考え方を客観的に考えることができる。	
		2週	人間性・社会性を育てる (2)	クラスメートに自己紹介を行える。	
		3週	人間性・社会性を育てる (3)	自分と他人の意見を比較し、それぞれの意見を客観的に評価することができる。	
		4週	技術者として働くことの意義を考える (1)	高専卒業後の進路について調べられる。	
		5週	技術者として働くことの意義を考える (2)	技術者として働くことについて調べられる。	
		6週	技術者として働くことの意義を考える (3)	社会の状況を鑑みて、自分が技術者として働く場合、どのような能力が必要と考えられる。	
		7週	自分の進路を考える (1)	高専卒業後の進路について調べられる。	
		8週	自分の進路を考える (2)	地元の企業について調べることができる。	
	2ndQ	9週	自分の進路を考える (3)	自身の進路について具体的に考え高学年で何をすべきかを述べるができる。	
		10週	技術者倫理 (技術者倫理の基本と実践 1)	説明責任、製造物責任、リスクマネジメントなど、技術者の行動に関する基本的な責任事項を調べられる。	
		11週	技術者倫理 (技術者倫理の基本と実践 2)	技術者倫理が必要とされる社会的背景や重要性を認識し技術者の役割と責任を調べられる。	
		12週	技術者倫理 (技術者倫理の基本と実践 3)	具体的な諸問題に対し、技術者倫理観に基づいて取るべきふさわしい行動を調べられる。	
		13週	技術者倫理 (情報倫理 1)	情報技術の進展が社会に及ぼす影響、個人情報保護法、著作権などの法律について調べられる。	
		14週	技術者倫理 (情報倫理 2)	情報通信技術と倫理との関わりを調べられる。	
		15週	技術者倫理 (環境倫理 1)	環境問題の現状ならびに科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響を調べられる。	
		16週			
後期	3rdQ	1週	技術者倫理 (環境倫理 2)	技術者として環境問題を考慮したふさわしい行動は何かを調べることができる。	
		2週	技術者倫理 (国際貢献)	国際社会における技術者としてふさわしい行動とは何かを調べることができる。	

4thQ	3週	技術者倫理（地域貢献）	地域社会に貢献するために科学技術が果たせる役割について調べることができる。	
	4週	技術者倫理（知的財産）	知的財産に関する基本的な事項、知的財産の獲得するための手順について調べられる。	
	5週	技術者倫理（法令順守）	技術者の社会的責任、社会規範や法令を守ること、企業内の法令順守(コンプライアンス)の重要性や、諸外国の文化・慣習などを尊重し、それぞれの国や地域に適用される関係法令を守ることの重要性を把握している。	
	6週	技術者倫理（持続可能性）	技術者が、人々が安心して暮らせる持続可能な開発を実現するために、平和の構築、異文化理解の推進、自然資源の維持、災害の防止などの課題に取り組んでいくことの重要性を認識している。	
	7週	技術者倫理（技術史の基本）	科学技術が社会に与えてきた影響をもとに、技術者の役割や責任、使命・重要性について調べることができる。	
	8週	情報リテラシー（情報の基礎）	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識、コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識を調べられる。	
	9週	情報リテラシー（情報ネットワーク）	情報伝達システムやインターネットの基本的な仕組みを調べられる。	
	10週	情報リテラシー（アルゴリズム）	同一の問題に対し、それを解決できる複数のアルゴリズムが存在していることを知っている。	
	11週	情報リテラシー（情報セキュリティ）	情報セキュリティの必要性および守るべき情報を認識し、個人情報とプライバシー保護の考え方についての基本的な配慮ができる。	
	12週	情報リテラシー（情報セキュリティ）	インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威を認識し、それらにに対して実践すべき対策を調べられる。	
	13週	グローバリゼーション（異文化多文化理解1）	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	
	14週	グローバリゼーション（異文化多文化理解2）	様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について認識し、異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	
	15週	グローバリゼーション（異文化多文化理解3）	それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について調べられる。	
	16週			

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	工学的な課題を論理的・合理的な方法で明確化できる。	4	
			公衆の健康、安全、文化、社会、環境への影響などの多様な観点から課題解決のために配慮すべきことを認識している。	4	
			要求に適合したシステム、構成要素、工程等の設計に取り組むことができる。	4	
			課題や要求に対する設計解を提示するための一連のプロセス(課題認識・構想・設計・製作・評価など)を実践できる。	4	
			提案する設計解が要求を満たすものであるか評価しなければならないことを把握している。	4	
			経済的、環境的、社会的、倫理的、健康と安全、製造可能性、持続可能性等に配慮して解決策を提案できる。	4	

評価割合

	試験	レポート	合計
総合評価割合	0	100	100
評価項目1	0	10	10
評価項目2	0	20	20
評価項目3	0	43	43
評価項目4	0	17	17
評価項目5	0	10	10